

## 抗原性試験

### <試験方法>

目的	モルモットを用いて、検体の即時型アレルギー反応を引き起こす可能性の有無を調べます。
使用動物	モルモット
群設定	試験群と陽性対照群を設定し、1群あたり4匹使用します。
投与	試験群： 感作：第1, 3, 5日目に検体を腹腔内に注射します。 惹起：第15日目及び22日目に2匹ずつ検体を静脈内に注射します。  陽性対照群： 注射物質を馬血清として、試験群と同様の操作を行います。
観察・評価	惹起後、30分間及び24時間に、試験群でアナフィラキシー症状が認められず、陽性対照群において、試験成立条件を満たす反応が確認された場合、陰性とする。
検体必要量	デキストラン40の場合は25g以上、デキストラン70の場合は15g以上になるようご用意ください。  その他の場合は25mL, または25mL以上の採取が可能な数量をご用意ください。  ご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せください。